

各 位

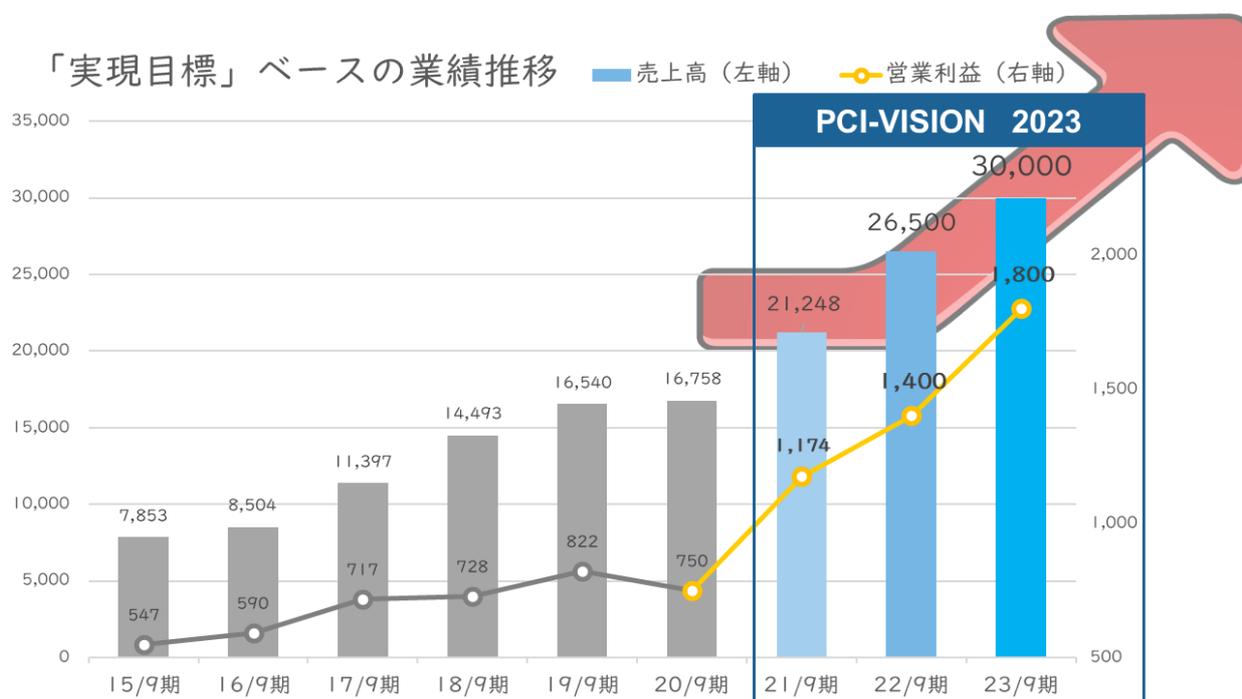
会 社 名 PCIホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 天野 豊美
 (コード番号: 3918 東証第一部)
 問合せ先 取締役経営企画本部長 井口 直裕
 (TEL. 03-6858-0530)

『中期経営計画「PCI-VISION 2023」』の経過に関するお知らせ

当社は、2020年11月13日に『中期経営計画「PCI-VISION 2023」策定に関するお知らせ』として、2021年9月期（第17期）を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を発表しております。

また、2021年11月12日に「2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて、初年度に該当する2021年9月期の業績を発表いたしましたことから、次ページ以降の説明資料において、『中期経営計画「PCI-VISION 2023」』の経過につき、戦略テーマごとに詳細にお知らせいたします。

<参考> 『中期経営計画「PCI-VISION 2023」』における業績目標並びに実績推移



※2020年11月13日開示『中期経営計画「PCI-VISION 2023」策定に関するお知らせ』より抜粋・編集

IT Solution for You!

PCI Holdings, Inc.



PCIホールディングス株式会社

(東証1部：3918)

中期経営計画「PCI-VISION 2023」経過報告資料

2021.11.17

「PCI-VISION 2023」

(経過報告にあたり)



- 当社は2020年11月13日に『**中期経営計画「PCI-VISION 2023」策定に関するお知らせ**』として、2021年9月期（第17期）を初年度とする3か年の経営計画を発表しております。
- 2023年9月期の経営目標数値は、実現目標として、**売上高 300 億円、営業利益 18 億円**（営業利益率 6.0%）としております。
- 2021年11月12日に「2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて、初年度に該当する2021年9月期の業績をご報告いたしました。
- つきましては当資料において、『**中期経営計画「PCI-VISION 2023」**』の経過につき、戦略テーマごとに詳細にご報告いたします。皆様のご理解の一助となりましたら幸いです。

「PCI-VISION 2023」

(戦略・目標・取り組み)



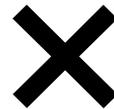
「ITにより【安心・安全・豊かな社会の実現】に貢献するエンジニアリング企業集団」として確固たる地位を確立する

ソフト・ハードを問わず、
顧客のあらゆるITニーズに対応する
ワンストップソリューションの確立

エンベデッドソリューション

製品設計・テスト

企画・製造・販売・保守



ビジネスソリューション

ITサービス

IoT/IoE

サイバーセキュリティ、M&A、業務提携

サステナビリティ課題の整理と取組



マテリアリティの整理

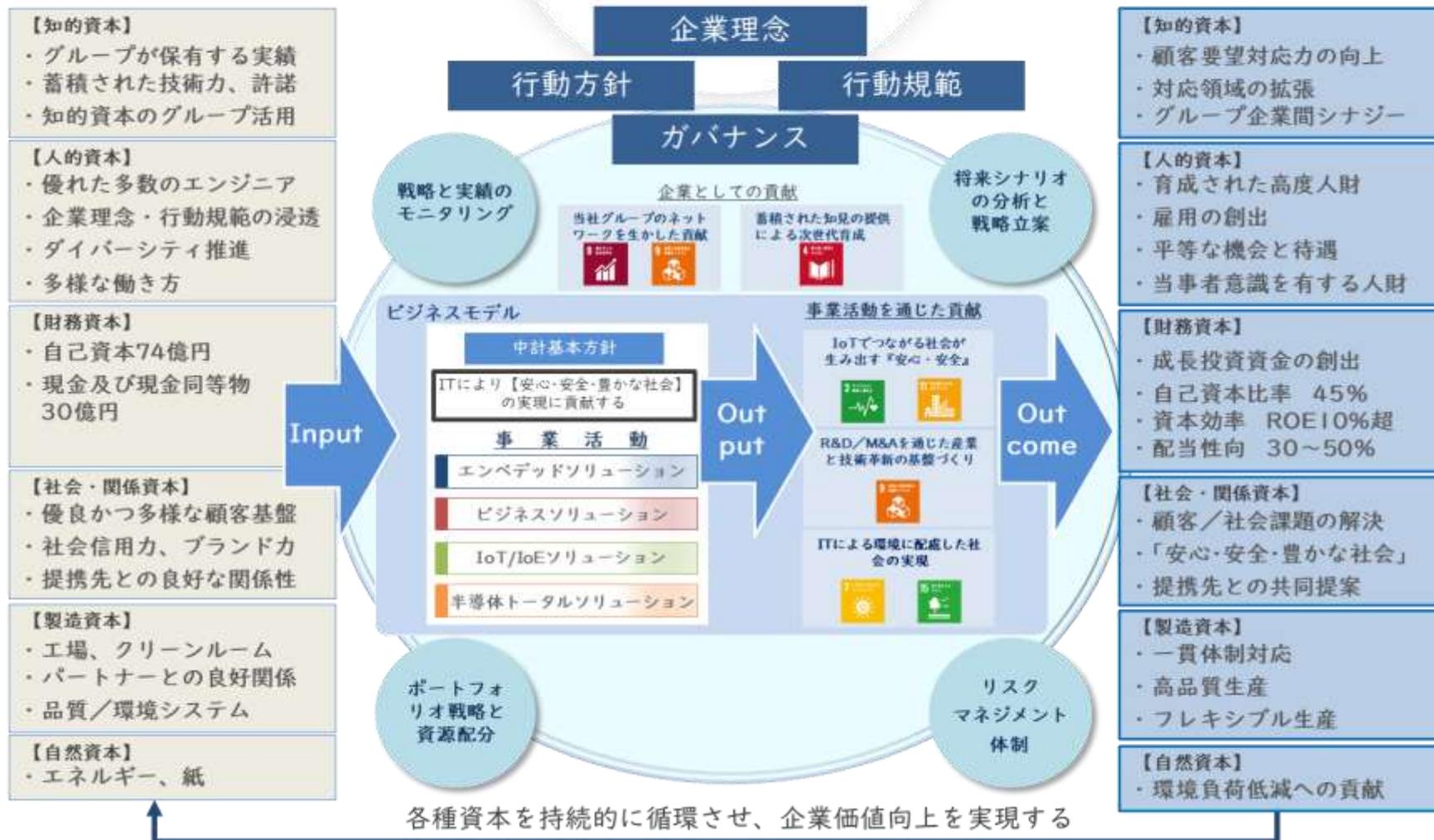
「当社のサステナビリティ課題への取組方針」

基本方針：持続可能な社会の構築／実現に向け、事業活動と企業活動の両面から、意識的かつ積極的に社会課題の解決に貢献してまいります。

	ESGの主要テーマ (重要課題)	関連する 主なSDGs	当社の取組 (方針／具体的取組)
	地球温暖化対策 ／ 資源循環社会		<ul style="list-style-type: none"> ITソリューションによる環境負荷低減への貢献 太陽光発電施設の点検効率化ソリューション 電気自動車発展のためのソリューション スマートシティ事業への技術参画 生態系の保護のためのソリューション etc.
	安全で持続可能な社会		<ul style="list-style-type: none"> ITを活用した安心・安全・便利な街づくり／人々の健康的な生活への貢献 後方車両検知ソリューション 除雪状況監視ソリューション 見守りソリューション 健康リスク検知ソリューション etc.
	イノベーションと 経済成長		<ul style="list-style-type: none"> 研究開発／M&Aを通じた産業と技術革新の基盤構築 技術／ソリューション強化のための研究開発投資 先進技術協議会の設置／充実 様々なITニーズへの対応を可能にするためのパートナー戦略の推進
	雇用と人財活用		<ul style="list-style-type: none"> 蓄積された知見の提供による次世代人財の育成 学校／学生団体教育支援 IT技術・スキル習得支援による高度人財の育成（「人材育成方針」の策定） 職場環境／働き方改革の推進（「社内環境整備方針」の策定） ダイバーシティ推進による全ての社員に平等な機会提供、育成、登用の実現
	適正なコーポレート ガバナンス体制		<ul style="list-style-type: none"> コーポレート・ガバナンスの充実 コーポレート・ガバナンスコードへの対応 リスクマネジメント／コンプライアンス（法令順守） 適正な情報開示と透明性の確保 説明責任

PCIグループの価値創造ストーリー

我々は、お客様の満足を通じて全社員の幸せを追求し、そして社会の発展に貢献します



中期経営計画「PCI - VISION 2023」～数値目標



- オーガニック・グロースによる目標値とM&A等を考慮した挑戦目標の2つを設定
- 挑戦目標として、最終年度には現在の約2倍となる売上高300億円を目指す

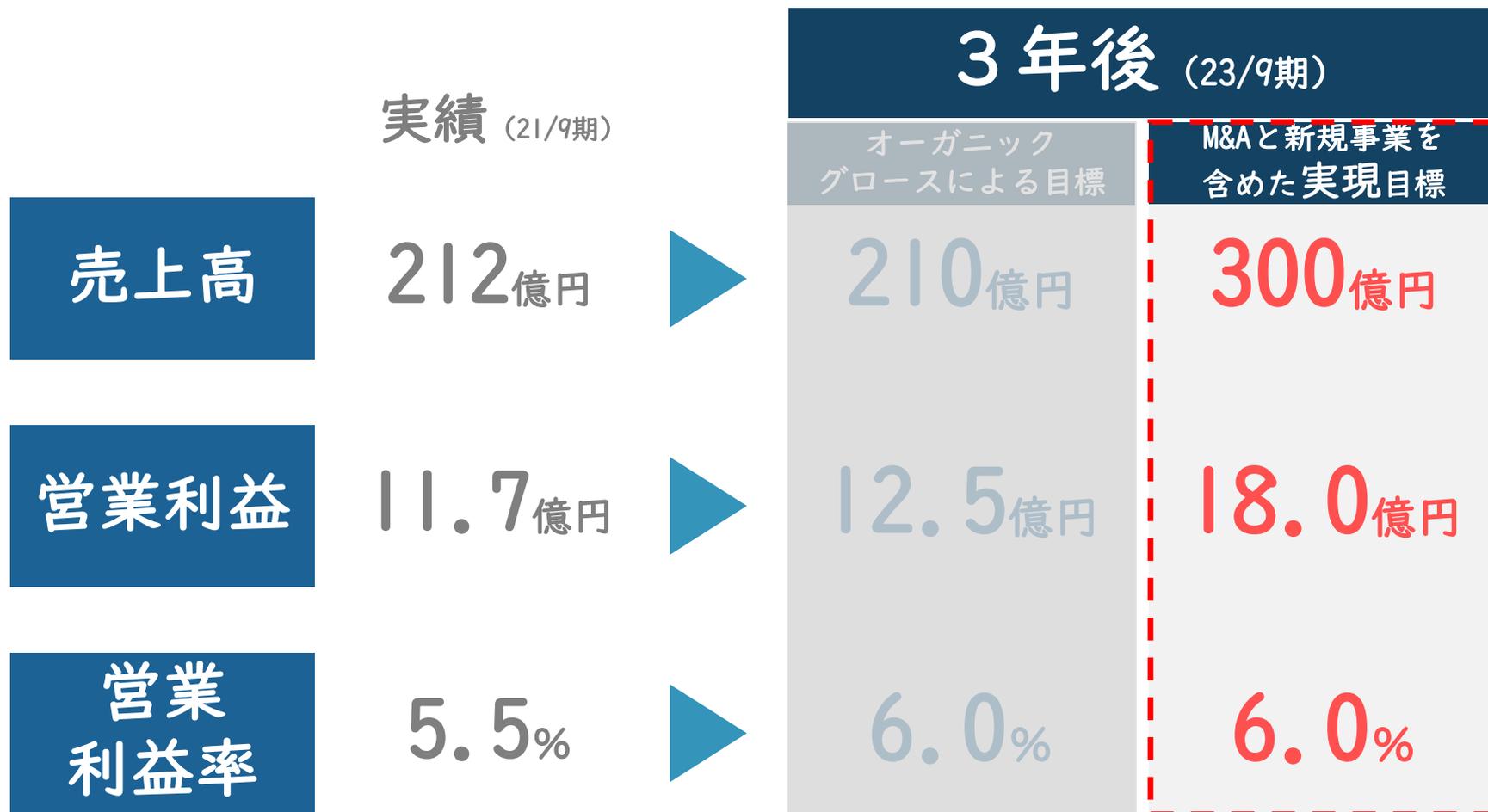
	予想 (21/9期初)	3年後 (23/9期)	
		オーガニック グロースによる目標	M&Aと新規事業を 含めた挑戦目標
売上高	170億円	210億円	300億円
営業利益	8.6億円	12.5億円	18.0億円
営業 利益率	5.1%	6.0%	6.0%

※2020年11月13日開示『中期経営計画「PCI-VISION 2023」策定に関するお知らせ』より抜粋・編集

中期経営計画「PCI - VISION 2023」～数値目標



- 株式会社ソードの完全子会社化による業績寄与予測等により、売上高300億円が「挑戦目標」から「実現目標」へ。



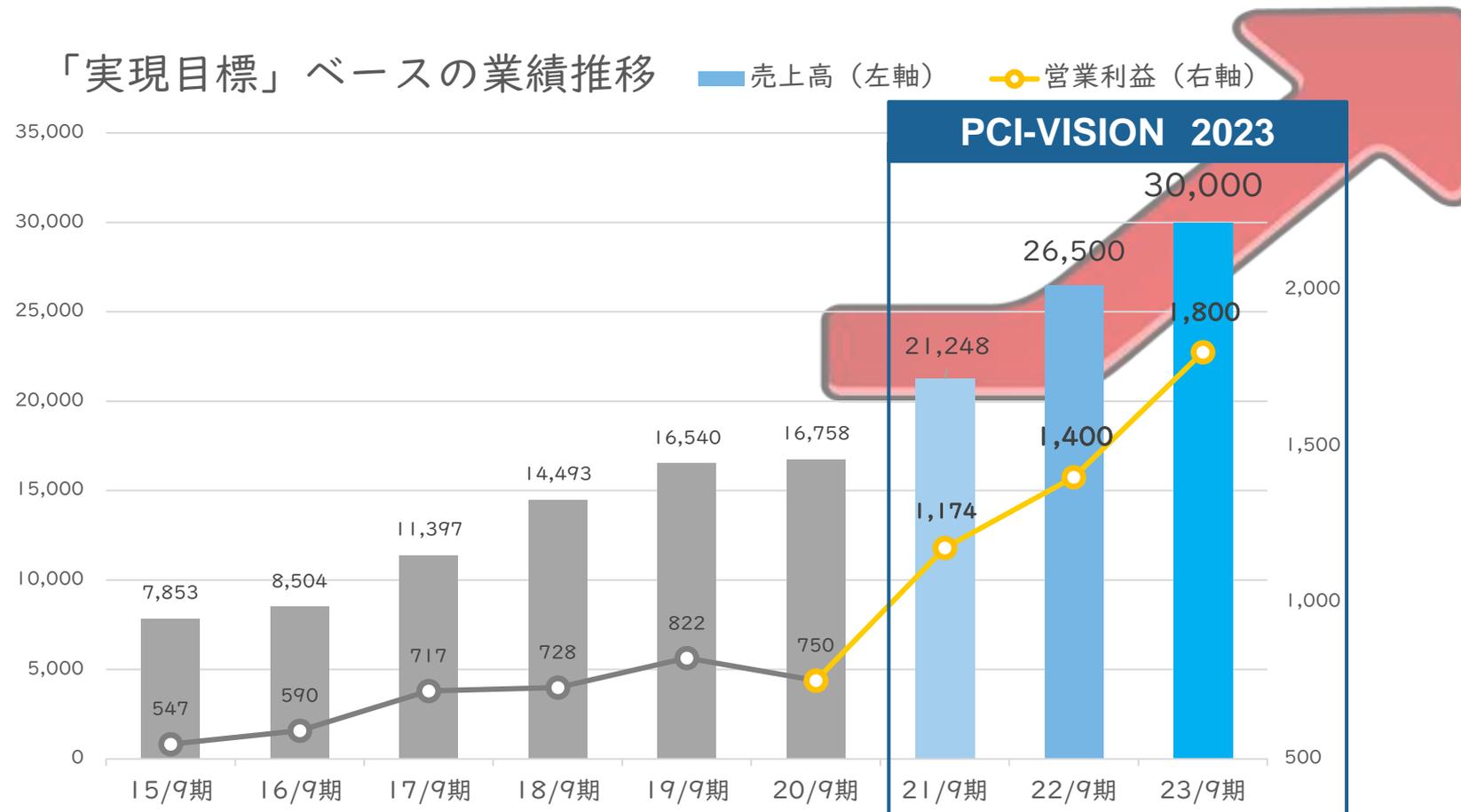
※2020年11月13日開示『中期経営計画「PCI-VISION 2023」策定に関するお知らせ』より抜粋・編集

中期経営計画「PCI-VISION 2023」～取り組み



- 目標への挑戦で大きな飛躍へ→売上高300億突破を目指す！
- 2021年1月の株式会社ソードの完全子会社化により、売上高300億円、営業利益18億を「挑戦目標」から「実現目標」へ移行

「実現目標」ベースの業績推移



※2020年11月13日開示『中期経営計画「PCI-VISION 2023」策定に関するお知らせ』より抜粋・編集

中期経営計画「PCI-VISION 2023」～数値目標



(百万円)	2021.9 実績	2022.9 計画	2023.9 計画
売上高	21,248	26,500	30,000
営業利益	1,174	1,400	1,800
親会社株主に 帰属する当期利益	669	820	1,050
1株当たり純利益 (円)	76.12	81.61	104.5
ROE	10.7%	10%以上	12%以上
連結配当性向	40.7%	38.0%	30%～50%
連結純資産配当率	4.6%	4.0%以上	

「PCI-VISION 2023」

(主要5項目)



PCI-VISION 2023主要5項目

- ① システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上
 - ・ 得意領域（業界・業種/技術）へのさらなる傾注
 - ・ アカウントマネジメント強化によるエンドユーザーとの取引の拡大
- ② 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出
 - ・ 先進技術の探求を背景とした真に有益なソリューションの創出
 - ・ 企画段階から最終製品/サービスまでのワンストップソリューションを提供できる体制構築
- ③ サイバーセキュリティ関連事業の推進
 - ・ 主に産業用機器向け『AppGuard®』の拡販に向けた更なる体制強化
 - ・ セキュリティソリューションラインナップの充実
- ④ 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM&Aの推進
 - ・ 当社グループ事業を補完するための業務提携先との連携強化
 - ・ 当社グループ事業とシナジー創出が見込まれる企業との積極的なM&Aの推進
- ⑤ 組織体制の強化及び働き方改革の推進
 - ・ 人材採用及び教育の強化
 - ・ グループ企業それぞれの特色に応じた働き改革の推進

PCI-VISION 2023主要5項目

1. システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上
2. 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出
3. サイバーセキュリティ関連事業の推進
4. 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM & Aの推進
5. 組織体制の強化及び働き方改革の推進

システムエンジニアリングサービス事業について

2021年9月期 システムエンジニアリングサービス売上高

上期
前期比 \uparrow 3%



下期
前期比 \uparrow 3%



通期
横ばい



下期より
持ち直し基調

①得意領域（業界・業種/技術）へのさらなる傾注

これまでの取組とその成果

☆得意・注力領域

- ・モビリティ：やや減少（EV関連：増加）
- ・アプライアンス：やや増加
- ・金融：横ばい
- ・産業イノベーション：横ばい

☆TOPICS

- ・スマートシティ事業への技術参入開始



今後の取組と期待

- ・AD/ADAS、EV、Connected Car、MaaS
- ・デジタル機器、映像系、通信/ネットワーク
- ・銀行業務系、生損保
- ・基幹系、クラウド、AWS

- ・スマートシティ事業インフラ構築へ参入拡大

②アカウントマネジメント強化によるエンドユーザーとの取引の拡大

これまでの取組とその成果

主力先/注力業種（約50社）との取引深耕・継続

- ・2021年9月期で前年同期比10%増加

グループ内での案件情報共有

- ・H/W販売先からのS/W開発ニーズ



今後の取組と期待

- ・取り組みを継続

- ・グループ企業共同提案

PCI-VISION 2023主要5項目

1. システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上
2. **最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出**
3. シイバーセキュリティ関連事業の推進
4. 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM & Aの推進
5. 組織体制の強化及び働き方改革の推進

自社ブランド製品/ソリューション/サービスについて

①先端技術の探求を背景とした真に有益なソリューションの創出

これまでの取組とその成果

AI・画像認識技術

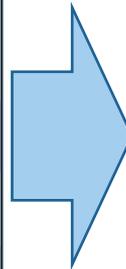
- ・後方車両検知ソリューション
- ・重量推論（研究中）

ラズベリーパイ+画像技術

- ・ラズベリーパイ+ネットワークカメラ+AI

LSI劣化予知ソリューション

- ・DART技術（Dependable Architecture with Reliability Testing）を実用化する取組み



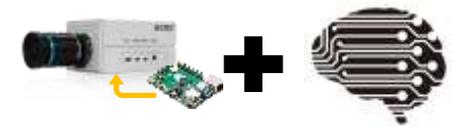
今後の取組と期待

実証実験

⇒ユーザー評価



⇒実用化



⇒収益化



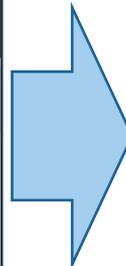
②企画段階から最終製品まで/サービスまでOne-Stopソリューションを提供できる体制構築

これまでの取組とその成果

提案～S/W開発～導入～運用保守

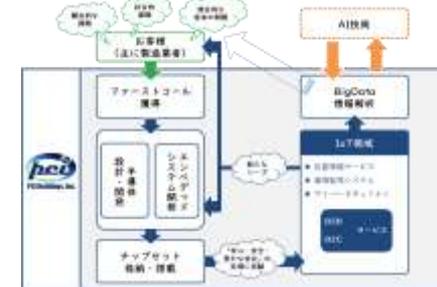


- ・他社からのH/W調達をソード社からの調達へ



今後の取組と期待

- ・グループ内での共同提案
- ・業務提携先との商流開拓



PCI-VISION 2023主要5項目

1. システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上
2. 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出
3. **サイバーセキュリティ関連事業の推進**
4. 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM & Aの推進
5. 組織体制の強化及び働き方改革の推進

サイバーセキュリティ関連事業について

①主に産業用機器向け「AppGuard®」の拡販に向けた更なる体制強化

これまでの取組とその成果

機器製造メーカー

東京精密

- ・工場における製造ラインで稼働するWindows 制御の産業用機器へ標準搭載

ソード

- ・エンベデッドPCへの搭載検証開始



今後の取組と期待

- ・エンドポイントセキュリティのみではなく機器製造メーカーへの提案促進



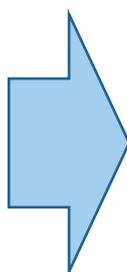
出典：株式会社シー・エル・シー「サイバーセキュリティサイト」

②セキュリティソリューションラインナップの充実

これまでの取組とその成果

「AppGuard®」とホワイトハッカーによるEDRサービスを組み合わせたソリューション販売開始

ネットワークセキュリティソリューションとの組み合わせ検証



今後の取組と期待

- ・「AppGuard®」のコアテクノロジーを活用したサイバーセキュリティソリューションを企画



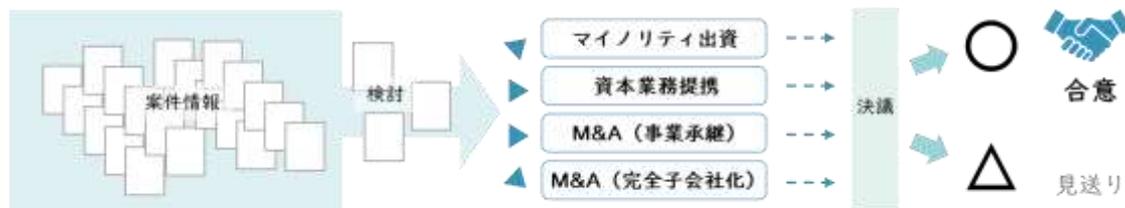
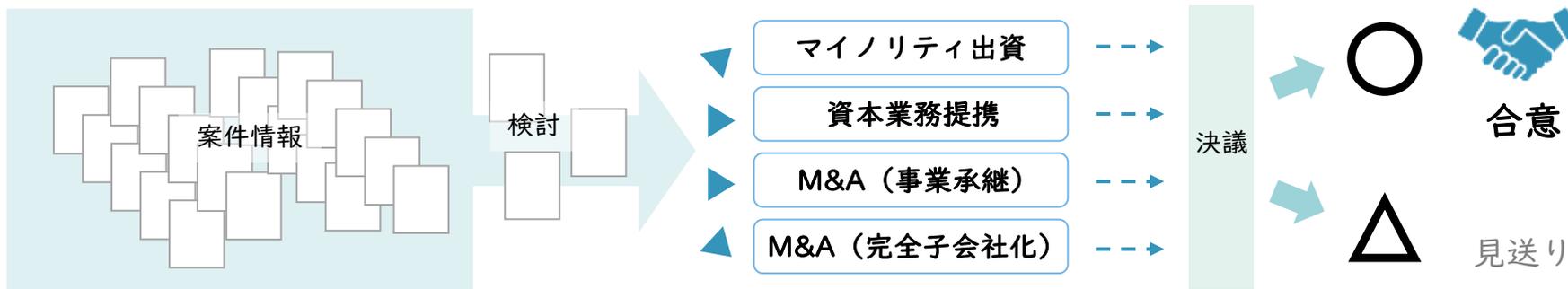
出典：株式会社シー・エル・シー「サイバーセキュリティサイト」

PCI-VISION 2023主要5項目

1. システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上
2. 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出
3. サイバーセキュリティ関連事業の推進
4. **業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM&Aの推進**
5. 組織体制の強化及び働き方改革の推進

M&A、パートナー戦略の考え方

- 中長期的な成長を見据えた「**先行投資**」としてパートナー戦略を推進
- **常時複数の案件**を進行し、積極的な資本参加を検討中



並行して複数の案件情報を
取得、精査



業務提携先との連携強化、積極的なM&Aの推進

①当社グループ事業を補完するための業務提携先との連携強化

これまでの取組とその成果

包括的提携

- ・株式会社レスターホールディングス

サイバーセキュリティ

- ・株式会社Blue Planet-works

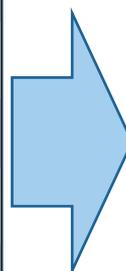
先進AI

- ・株式会社TieSet

ブロックチェーン/DX

- ・株式会社Opening Line/株式会社ウフル

更なる候補企業を検討継続



今後の取組と期待

共同事業の推進/産業と技術革新の基盤作り

- ・技術・営業協力

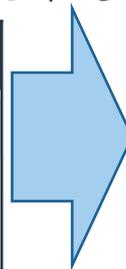


事業ポートフォリオ補完企業の選定

②当社グループ事業とシナジー創出が見込まれる企業との積極的なM&Aの推進

これまでの取組とその成果

株式会社ソードの完全子会社化



今後の取組と期待

継続的企業選定

- ・事業ポートフォリオ補完企業の選定
- ・具体的な調査活動

➤ 国内トップクラスのエレクトロニクス商社

国内主要半導体／エレクトロニクス商社**2020年3月期通期業績第3位**。（2020年6月10日EE Times Japan）
2021年3月期**通期売上実績3,238億円**

➤ 幅広い取引口座（顧客）の数・領域と取引実績

ソニーグループ、アルプス電気グループ、キャノングループ、パナソニックグループ、日立グループ、富士通グループ、ニコングループ、NECグループ、富士フィルム、東芝グループ、インテル、サムスングループ等、大手～中小メーカー、国・自治体への多様な販路を保有（約2,000社）

➤ レスターグループの長期ビジョン

多様な事業、**パートナーとの共創（AI/IoT、半導体SW、セキュリティ、SIer機能の拡充）**、取引先との連携・協調を通じてお客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する

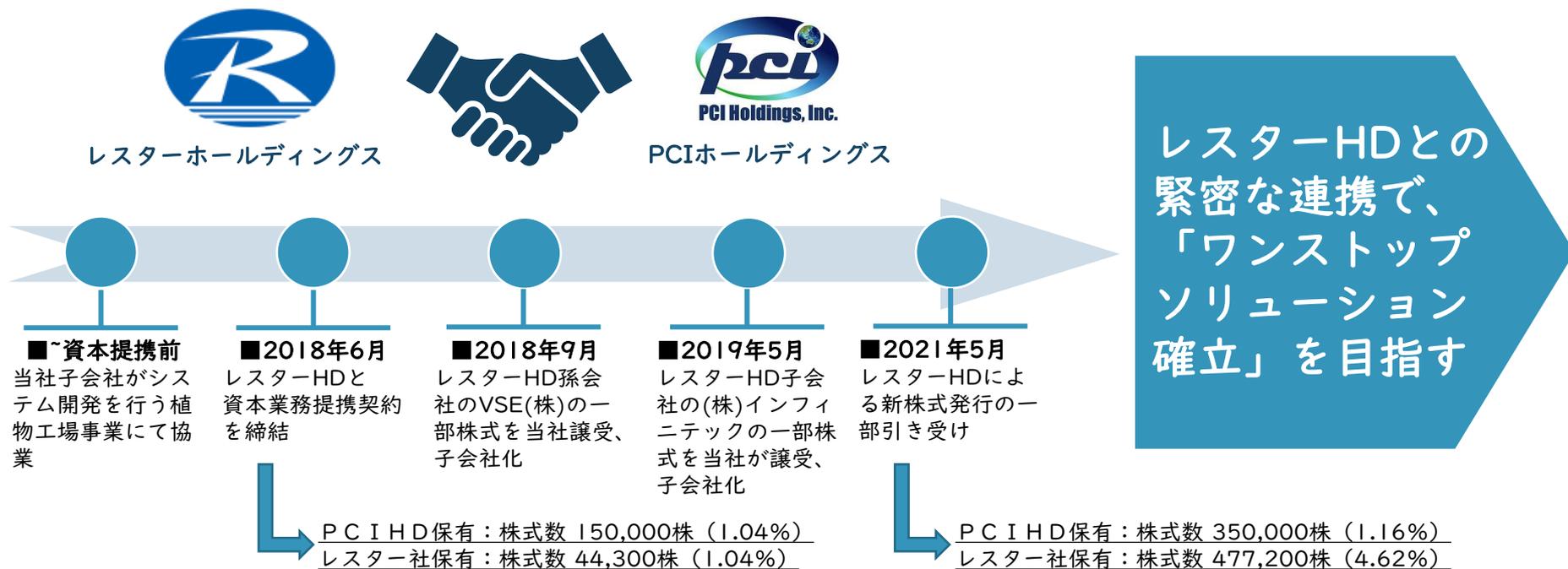
！**兆円企業の実現と世界市場を視野に入れた事業規模の拡大**並びになお一層の企業価値の向上を目指す

エレクトロニクスの 情報プラットフォーム

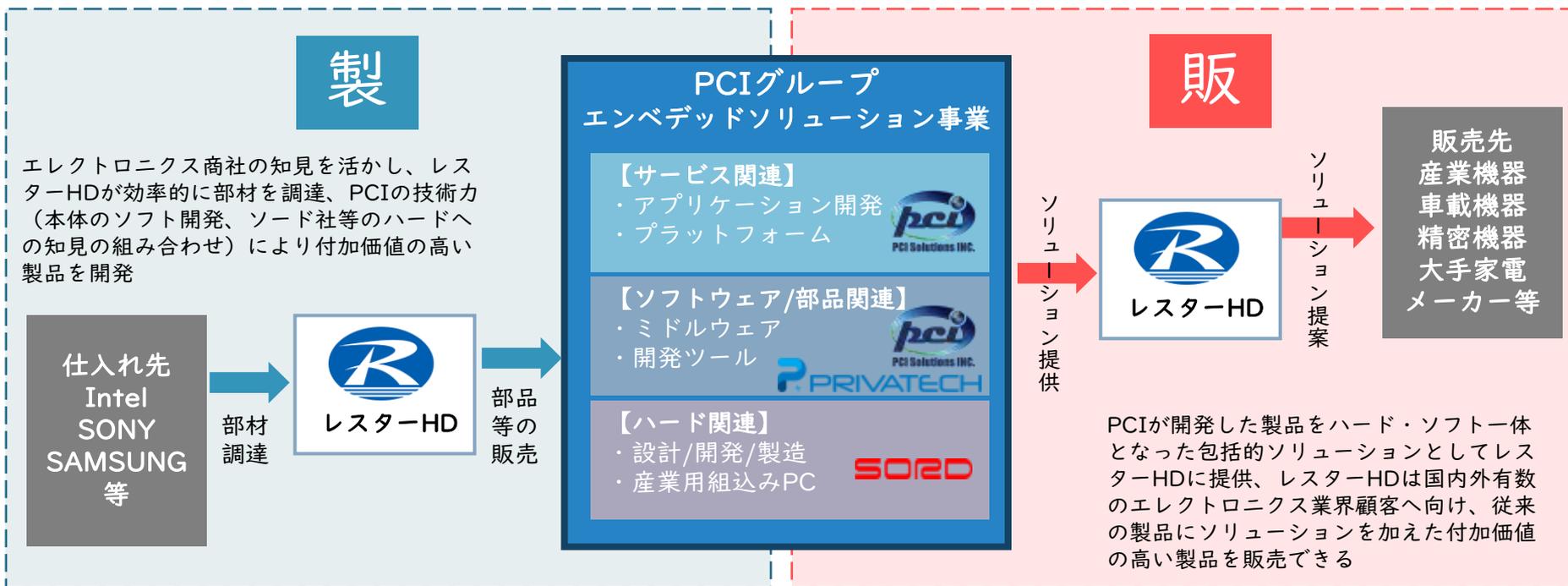
レスターホールディングスとの資本業務提携の経緯



- 2018年にレスターホールディングスと資本業務提携契約を締結し「共創協議会」を設置
- ソフトウェア開発を得意とする当社グループと、半導体・ハードウェアに知見を持つレスターHDの「共創」により、ITサービスのワンストップソリューションの確立を目指す



資本業務提携強化による協業イメージ



マイノリティ出資～事例紹介～



株式会社Blue Planet-works

あらゆるモノがインターネットを介してつながる「IoT/IoE社会=Connected World」における「安心・安全・豊かな社会の実現」への貢献を目指し、OSプロテクト型サイバーセキュリティ製品「AppGuard®」を中心としたサイバーセキュリティ事業の充実を目指す。

株式会社TieSet

米国シリコンバレー発のAI技術のスタートアップ企業。最先端AI基盤技術、とりわけ、**連合学習技術**をはじめとした最先端技術を用いた分散AI技術の研究開発。AI技術を用いた革新的なソリューションの提案を目指す。

株式会社ウフル

DXとデータ活用を支援・推進し、Salesforce、Loocus、enebularなどのクラウドとエッジでデータが流通するための仕組みを有する。新たなソリューション・サービスを確立するとともに、**リカーリング収益**をベースとした事業創出を目指す。

株式会社Opening Line

情報通信の接続・位置測位、車載・精密機器他の組込み技術と、ブロックチェーンによって導かれる「価値のデータ」との連携を目的としたソリューションの開発を目的。**ビープラッツ株式会社と協同でブロックチェーンを搭載**しより進化したサブスクリプションプラットフォーム「コレオール」を開発。

EDGE株式会社

資本参加によりHR-Techに活用する最先端技術の提供、アジャイル手法によるスピーディかつスマートなサービス開発を共創し、日本のデジタル改革に向けた**スマートなHRの実現**を目指す。

<参考>株式会社ソード 事業内容

- 国内上位の販売台数・金額を誇る**組込み（エンベデッド）PCメーカー**
- 開発、設計、調達、製造・品質保証、保守修理までを**ワンストップ**で対応
- 豊富な経験に基づく**高品質な開発、生産対応**

医療事務用PC／証明写真機



組込みパソコン



組込み用コントローラ



- EmbeddedOS採用により半年毎の大型アップデートの検証を回避
- プログラムの実行や操作を制限 業務以外の作業を禁止

CT／MRI装置用コントローラ



操作コントローラ



画像構成用コントローラ



画像データ取得用コントローラ

- ※拡張性と性能を兼ね備えたハイエンド・コントローラ
- ※レジスタードDIMM (ECC) メモリ採用 メモリ処理の信頼性確保
- ※IPMI2.0による遠隔からの電源コントロール、システム稼働監視が可能



Raspberry Pi® 組込み開発支援サービス



Raspberry Pi®搭載ネットワークカメラ「SRIシリーズ」



Raspberry Pi®カスタムキャリアボード

ラズベリーパイを組込み製品で活用

- キャリアボード設計
- 筐体設計
- ソフトウェア受託開発
- キットニング
- 評価支援 など

MFP (マルチファンクションプリンタ)



組込み用マザーボード



カスタム電源装置



メモリ、ストレージを組込んでプリンタ内に搭載しやすくレイアウト

「ハードウェアとソフトウェアの融合」実績

- 中期経営計画における事業戦略の1つである「ハードウェアとソフトウェアの融合によるOne-Stopソリューションの実現」を目的に、国内有数のエンベデッドPCメーカーである「株式会社ソード」を完全子会社化
- 2021年9月には、AIカメラとしての活用も視野に含むRaspberry Pi®搭載ネットワークカメラの発売を開始。



pci
報道関係者各位
プレスリリース
株式会社ソード

SORD
2021年8月吉日

**Raspberry Pi®搭載ネットワークカメラ「SRiシリーズ」発売開始
エッジコンピューティングが可能でAIカメラとしての活用も視野**

国内トップクラスの総込みPCメーカーである株式会社ソード（本社：千葉県千葉市美浜区、代表取締役 荒木 均）は、2021年9月よりRaspberry Pi®搭載ネットワークカメラ「SRiシリーズ」の発売を開始いたします。IT関連製品の企画開発から製造・保守サービスまで「One-Stop」でお客様に提供できる強みを生かし、お客様のニーズに合わせた多様なラインナップをご提供いたします。当社のエンベデッド技術を活用することで、エッジコンピューティングが可能なネットワークカメラとなっています。AIカメラとしての活用も視野にラズパイの産業向け活用方法をご提案します。

製品紹介

NEW! SRi series カメラモジュール

SRi01x / SRi02x / SRi03x / SRi04x / SRi05x

カメラ用途としてすぐに活用可能なRaspberry Pi® Hqカメラモジュール搭載モデル
SRi01x/SRi02xレンズ選択可能

・主に“教育やホビー用途”だった「Raspberry Pi®」を活用し、産業用として開発したネットワークカメラ



・安全規格の取得・電波妨害自主規制・静電気対策・熱対策・防塵対策等を施した専用筐体を採用

・人が多く集まる場所での人流分析や、施設内での人物検知など、AIカメラによる様々な解析も簡単に導入。ラズベリーパイを用いることで、低価格でのAI・ネットワークカメラの提供が可能

・活用範囲は、①顧客動線監視、②サイネージとの連携、③アナログ計測器の遠隔検針、④工場内監視等を想定



・お客様のDXの推進、従業員の皆様の「安心・安全」に貢献

PCI-VISION 2023主要5項目

1. システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上
2. 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出
3. サイバーセキュリティ関連事業の推進
4. 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM & Aの推進
5. **組織体制の強化及び働き方改革の推進**

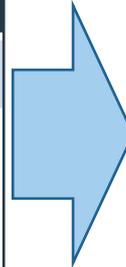
組織体制の強化及び働き方改革の推進

① 人材採用及び教育の強化

これまでの取組とその成果

人材育成方針の策定

- ・クラウド教育研修ツールの活用



今後の取組と期待

- ・グループ企業合同研修実施
（女性幹部研修・営業研修・階層別研修等々）
- ・次世代経営幹部社員の育成
- ・継続的な待遇向上

② グループ企業それぞれの特色に応じた働き改革の推進

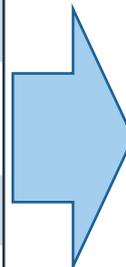
これまでの取組とその成果

社内環境整備方針の策定

- ・各種制度整備

テレワークによる業務遂行

- ・テレワーク手当制度
- ・業務効率化ツール導入



今後の取組と期待

- ・業務効率化推進
 - ・人事評価ツール採用
-
- ・更なる働き方改革の推進

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、
資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

IR動画はこちら→
(またはこちらをクリック)



お問い合わせ先

PCIホールディングス株式会社 IR・広報室
E-mail ir@pci-h.co.jp

Positively, Change, Innovate

～積極的に、変化と革新をし続ける～

